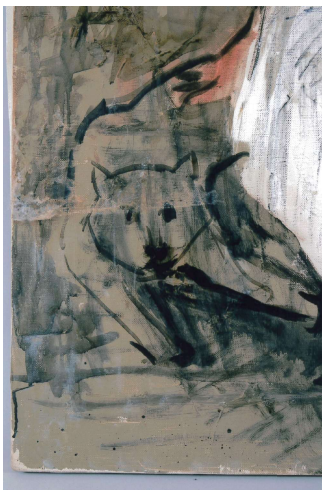
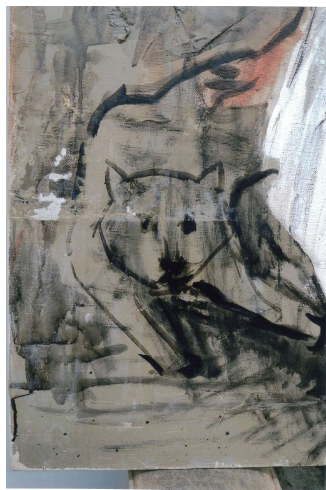


作品修復作業

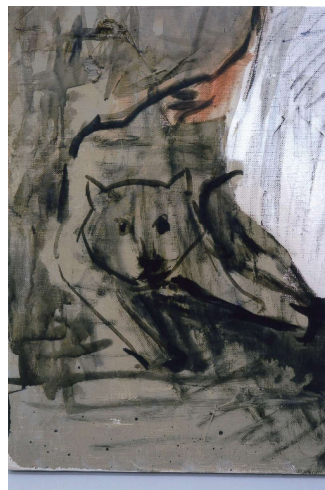
美術作品は、経年劣化だけでなく、つねにさまざまな要因による損傷にさらされている。制作時の状態を保存ないし再現するため、収蔵時にすでに大きな破損や劣化がみられる場合に、作品修復を行うことも美術館の重要な役割のひとつである。アーツ前橋では、開館以来、各ジャンルの専門家にその作業を依頼してきた。今回展示されている《パニックはいらない》、《愛と死とに》は、修復研究所二十一で修復された。該当箇所を間近でご覧いただきたい。



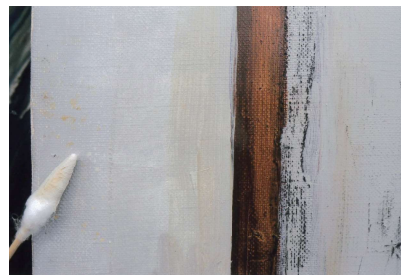
《パニックはいらない》左下部修復前



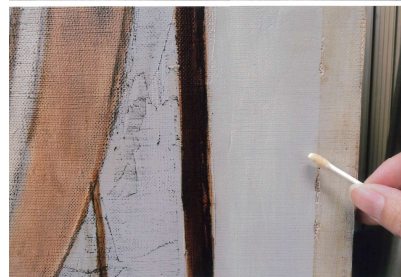
修復中



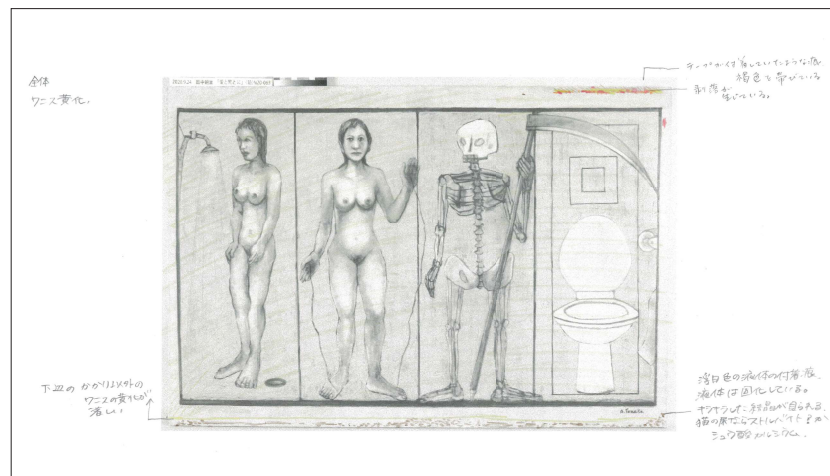
修復後



《愛と死とに》修復中
精製水で画面の汚れを洗浄



接着剤が付着している部分は溶剤を使用し、オリジナルの絵具層に影響が及ばない程度までに除去



《愛と死とに》状態記録表